

PORSCHE 993

MAINTENANCE MANUAL

ブロアファン取外し編



著作権について

『ポルシェ993メンテナンスブローファン取り外し』（以下、本マニュアル）の著作権を含む知的財産権は全てEmzスタイルが保有します。

よって、本マニュアルの一部または全部を無断で複製、改変、配布、掲示、表示、アップロードすることはできません。

商用目的以外の私的使用に限って、閲覧、ダウンロード、印刷することができます。また、本マニュアルの全部または一部をコピーして販売するなどの営業行為も固く禁じます。

注意事項

以下の点にご注意ください。

（責任の所在）

『本マニュアル』は、様々なノウハウを公開していますが、これを利用して何らかの問題や損害が生じたとしても、当方は一切責任を負いかねます。すべては、あなたの自己責任においておこなうものとします。

（秘密保持）

『本マニュアル』の内容を一般公開することはできません。また、転売も禁止されています。

はじめに

ポルシェ911、タイプ993のブロアファンの取り外し、取り付け実施マニュアルです。

初めてエンジンルームを見ると、面食らうかもしれませんね。なにしろ、993のエンジンルームはほとんど隙間がないですから。何をすることも必ずはずさなければならないのが、このブロアファンです。

デスビのチェックやオルタネータの取り外し、エンジンフードのステー交換、カムカバーガasketの交換、リアのサスペンション・・・今まで何回取り外し、取り付けをやったことか（苦笑）

簡単な作業ですが、初めての方が陥りやすい点に重点を置いて手順をまとめてみました。

このレポートは私が実践したものを記述しています。私も、実は車の整備士でもなんでもありません。皆さんとそう知識レベルは変わらないと思います。私の経験（失敗？）を元に以下説明します。

準備しておくもの

必要な部品など

今回は、部品の取り外し、取り付けのみですので、必要な部品はありません。

必要な工具

工具はできるだけ良い物を使って下さい。

10 mm ソケット

ラチェット

エクステンション

プラスドライバー（中）長いものが良いです。

他

通常のツールセットで充分だと思います。

作業手順

取り外し方

安全のために、バッテリーのマイナスを外してください。
ポルシェはエンジンを切った後も、しばらくブロアが動くことがあるからです。

さて、はずすブロアファンの確認です。
エンジンルーム左側の黒いボックスです。
左側ほとんどをカバーしてしまっていますね。これがあるので、「手を入れる隙間がない!」と感じるわけです。



まずは、赤丸のボルトをはずします。
落とさないように気を付けてください。

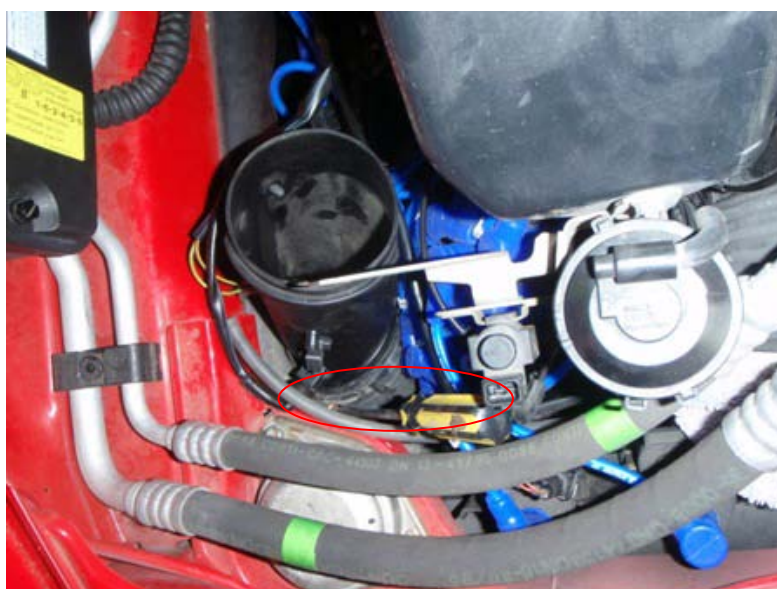
これをはずすと、網のついたブロアの吸い込み口部分がはずれます。
(単純に右側にはまっているだけです。)



次にはずすのがゴムのダクトパイプです。
赤丸の部分でバンドを締めています。これをドライバーでゆるめます。
下側ははまっているだけです。

緑丸部分は温度センサーが入っています。そこのプラグを外します。
(この温度センサー外れやすいです。外れた時は押し込んでください。)

さらに下にプラスチック製のパイプがありますが、これは必要に応じて外せばよいでしょう。



左奥のバンドでとまっていますので、同じくドライバーでゆるめます。(なるべく長めの方が作業はしやすいです。)



このプラスチックのパイプにはレジスタ（バネみたいな部品です）、デスビへのチューブがついています。パイプを取り外す場合は、これもはずします。



ブロアファンを外す前にこの部分を抜いておきます。(他ははずさなくても大丈夫です。)

負圧がかかっていますので、抜くと、「プシュー」ってなります。



ブローファン本体は2本のボルトでとまっています。

まずは、赤丸をつけたボルトをはずします。

これには奥にカラー（緑丸）としてナットがついていますので、これもはずします。（ほぼ、一体化しているので、赤丸部分をはずせば取れるはずです。）



ブロアの奥のボルトをゆるめます。
ちょうどこの場所にあります。エクステンションかロングソケットを使います。
ボルトを落とさないように注意しましょう。

これでブロアファンはずれます。コードがつながっていますので、これもはずせば、完全に取り出すことができます。



このようにボルト2本だけで留まっています。
右の赤丸が、ちょうど先ほど抜いたパイプ部分です。

取り付け方

実は、はずす時より、取り付ける方が難しい場合があります。

まず、ブローファンのコネクタをつけなおします。

ブローファン本体の奥の方に、突起があります。これがエンジン側にはまるようになっています。

まず、それをきちんと合わせます。

ボルトをとめますが、手前の方を先にはめた方がわかりやすいと思います。



これですが、締めすぎないように注意が必要です。
結構ボルトが浅くはまっていますので、力を入れすぎると、エンジン側（インテーク）をねじ切ってしまう。

続いて、奥のボルトも戻します。

こういう複数のボルトを締める場合ですが、一か所を一度に完全に締めるのではなく、まんべんなく徐々に締めていくのが重要です。

でないと、微妙にずれることがあり、部品を痛めてしまったりします。

はずす時は単純に緩めればよいのですが、はめるときは位置決めが必要になります。徐々に締めていくのがセオリーです。



ゴムのパイプですが、一度上側をはめて、バンドを締める前に下の部分をはめます。赤丸でつまむ部分がありますので、そこをつまみ伸ばしながらはめ込みます。

他はほぼ逆の手順で簡単に戻せると思います。

最後に

ブロアファンはいろいろやりだすと、何かと一番取り外しをする部分です。ボルトをいい加減にとめたりすると痛む場合がありますので、より注意が必要です。 (実際、私もインテークのネジ穴を痛めました・・・)

ご意見、ご感想、ご質問がありましたら下記までお願いいたします。

Info@emz-style.com

ブログもあります。いろいろと作業をしていますので、ご興味があれば寄ってみてください。 ([ポルシェ 993 オーナー日記](#))

エムズスタイル
前田 稔